



**買い換え前はミニバン**  
八木さんが、トウアレグの前に乗っていたのはVWシャラン。7人乗りのミニバンで、家族皆が乗れることを優先していた。



八木さんとVWの関係はシャランだけではない。運転歴24年のうち、半分は輸入車との付き合いという八木さんが、4代目のマイカーに選んだのはゴルフのTDI。続いてゴルフ ワゴン(写真)、その次がシャラン(写真)だった。なんと妻・啓子さんも、ポロ、ニュービートル(写真)、ゴルフと乗り継いでいるというから、実は自他共に認めるVW一家だったのだ。ちなみに、このミニカーは八木さんのスケールモデルコレクションの一部だ。

**八木さんが比較試乗したライバル車**



**LANDROVER DISCOVERY HSE**

前後リジッドサスと、極悪路の走破性を重視した基本設計を持つイギリスの本格4x4。41V8のエンジンを搭載。価格は5,176,000円。



**FORD EXPLORER**

SUVのつぼ、北米市場でトップセールスを記録し続ける人気4x4。前後独立懸架。4.6V8のエンジンを搭載。価格は4,882,500円。

**ミニバンの便利さ以上に「走り」にこだわりたくなった**

ミニバンからクロカン四駆へより「走り」を重視した選択肢  
「トウアレグはね、妻が最初に欲しいと言いつ出したんですよ」と笑う八木さん。02年12月の4x4 MAGにスペイン発表会の試乗記が出てましてそれでひと惚れしたんです。スタイルが良い上に、ウッド&タン内装がいなくて、その時から私もトウアレグを意識し始めました。よくみると、端正で知的なイメージが漂ってくるんですよ。しかもひと目でトウアレグと分かる。そんな、粋なテイリングに、私自身も惹かれました。  
そんな頃、新潟県は長岡にある八木家の車庫に収まっていたのは、シャランだった。シャランは、取り外し可能な前後スライド機構付き3列シートを備えるVWのミニバン。この両親とふ

たりの息子さん、そして今のモカバリアを合わせ、6人+1匹になる八木家にして、この7人乗りファミリーカーはとても便利な存在だった。そして八木さんにとっては、愛すべき存在でもあった。なにせ国内稀少モデル故に情報が少なく、それを解消するために立ち上げた「シャランオーナーズクラブ」のメンバーリストを、都合3年間も主宰し続けたのだ。  
そんな八木さんも、03年頃から次期ファミリーカーを探し始めた。候補は、デイスカバリーとエクスプローラー、そしてトウアレグ。人と荷物を沢山、快適に運べるミニバンから、人と荷物を安全に、どこへでも運んでくれるコンパクトリー4x4へ……。それが冬は雪上を運転し、夏は皆で山遊びする八木家の、次なる回答だった。

当初クルマの選定には譲れない線があった。それは、7人乗りであること。シャランのロタンを終えていることもあってVWにこだわる理由もなく、3列シートを備えるデイスカバリーとエクスプローラーに分があった。しかし、3車の試乗の後、八木さんの気持ちにはトウアレグに傾いていた。  
「ハンドリングの楽しさはトウアレグが一番でした。狙ったラインを正確にトレースしてくれます。それと、乗用車しか知らない私にとっては、トウアレグの挙動が番自然でした。特にコーナーリング。エクスプローラーは、ロールが深いと感じましたし、デイスカバリーはボディーとフレームの動きに、スプリングの剛性感もよく動き出した瞬間から、いいなって思ったんです。」

**スタイリングに惚れて  
ハンドリングに納得した**

「新しいVW、トウアレグって言うの？いいじゃない」それは、奥さんのひと言から始まった国内導入以前の「ひと惚れ」から、ライバル車徹底比較そしてV6モデル納車に至るまでのひとりのオーナーの購入記をご紹介しよう



V6 × 八木剛一  
Koichi Yagi

**ライバル比較試乗&購入記**





### 啓子夫人

「ハンドリングが正確なので、車体が大きな割には運転が楽ですね。高速道でグイグイ加速する様はとて爽快。シートヒーターのおかげで、腰痛も半減しました」



### サン(キャバリア)

トゥアレグのテールハッチを開けると、自動的に飛び乗ります。冷暖房完備で快適だワン? ドッグケージを載せてもカーゴルームは余裕たっぷり。

### 大幸君(左) & 元春君(右)

「友達に自慢できるよ。エアコンが良く効くので気持ちいいし。シートが大きくて寛げるのもいいな。でも、リアシートもリクライニングして欲しい」



震災後、トゥアレグの荷室には救急箱や非常食、そして暖の取れる衣類や毛布が常備されるようになったという。ドッグケージが余裕で入る荷室の大きさにも、満足しているという。



## 八木剛一さん

1962年12月16日生まれ、42歳。新潟県長岡市出身。会社員。国産車歴11年、輸入車歴13年。HPの「トゥアレグドライブ日記」は、トゥアレグ乗りにはよく知られたサイト。新潟県中越地震の際には、被災直後から震災レポートを継続してアップデート。速報性の良さも手伝って、人気も更に上昇した。奥が深くて実用的、そして楽しいサイトだ。メンバーリスト「Tregs」の中では、オフ会予定地のロケーション情報提供、現地担当者(窓口)との調整などを担当。趣味はドライブ、ミニカーコレクション、そしてマウンテンバイク。

**やはり良かった走行性能**  
購入して、さらに好きになった  
「ここまで分析して、八木さんはいいに譲れない線」を譲った。「トゥアレグには、3列シート車を眺めても選ぶ価値がある。」一緒に試乗した啓子夫人も同じ意見だったという。  
「11月10日、八木家にトゥアレグが納車された。実際、トゥアレグと生活を共にしてみると、改めてよいクルマに出会えたな」というのが正直な気持ちです。試乗時にホンモノだと感じた走行性能は、さらに高い次元で満足しました。雪国なのでESPの存在も助かります。妻も運転が楽なんでしょう。山路でも運転を替わってくれるようになりました。何よりも、頑丈なボディとブレーキのよく利くシャシャに、大事な家族を乗せ

ているという安心感がいいですね。  
この一年半の間に、八木さんは約1万5千キロをトゥアレグと共にした。その間、新潟県中越地震で自宅が被災、余震の続く中、トゥアレグを家族のメンバーとして何日も利用したこともあったという。車内空間の広い、トゥアレグならではの活躍だ。  
「思い出しに残るドライブは、厳冬期の八ヶ岳高原道路へ家族で行った時ですね。もちろん雪道でしたが、安定した走行性能に感動しました。本格的な四輪駆動のおかげで、踏み込めなかつた凍結路も不安なく走破できるようになりました。」との声。「トゥアレグのおかげで、我が家の行動範囲は更に広がりました。これからはこのクルマ本来の味が出るようになり、使い込んでやりたいですね。」

### 「TREGS」

八木さんが加入しているトゥアレグのメンバーリスト。「Treg」というのは北米ユーザーが使っているTOUAREGの愛称だという。東京在住のデザイナーが主催しており、オーナー予備軍、カイエンオーナーも広く参加、現在370名余の会員数を有している。メンバー登録することで、写真情報やトゥアレグ関連情報を共有できるようになる。オフ会等も盛んに行っている。

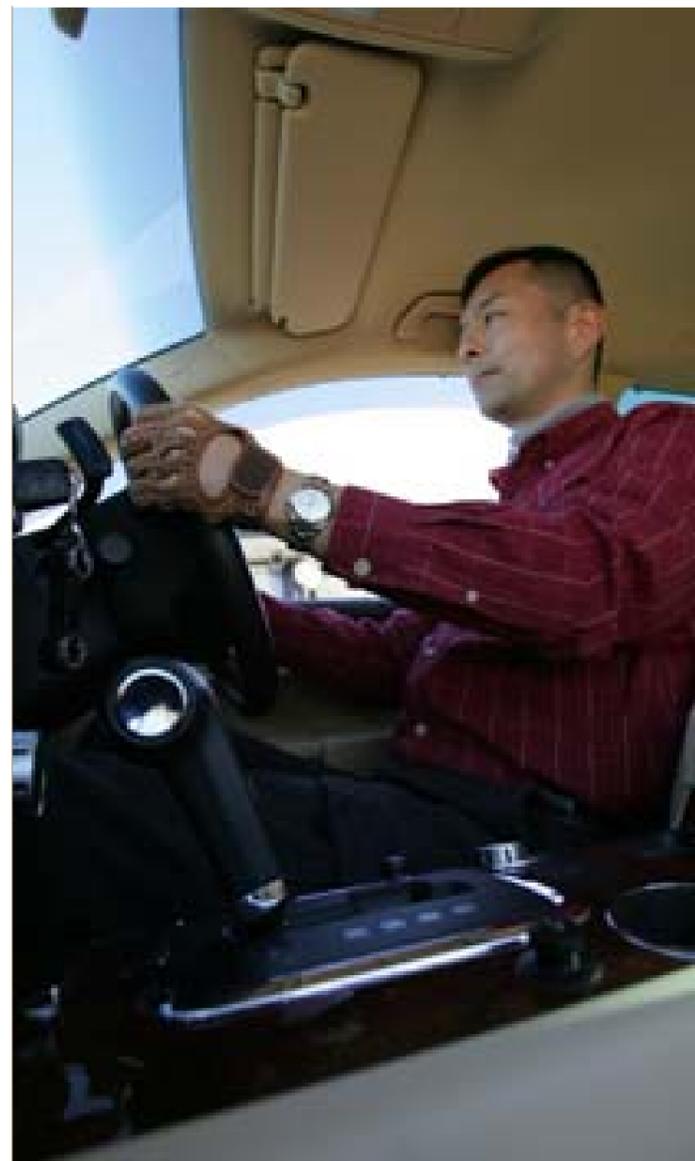


ルーフの積載性や駐車場の利用メンテナンス費も合わせて考えた  
「エンジンの洗練性についても、トゥアレグが枚上りだと思いましたが、排気量は他の2台に劣ってましたが、可変バルブに可変吸気マホールドと、先進のメカを搭載して、しかもDOHCはトゥアレグだけ。息の長い回転上昇と十分なトルク感、そして軽やかなエンジン音が魅力でした。他車は吹け上がり感に乏しくエンジン音も騒々しく感じたんです。」八木さんは、ドライバーの短い試乗時間でよく「ここまで」と驚いてしまうほどの細かく3車をチェックしていた。しかし分析はこれだけに留まらない。  
「家族皆がMTBで遊ぶ我が家のライフスタイルには、ルーフの積載性も大切でした。トゥアレグは、THULE

のシステムキャリアが装着可能で、ルーフBOXとMTBを複数台固定できます。また、ルーフBOX装着状態でも2.1mの駐車場が利用可能という計算でした。これは、ルーフの高いライズバリーでは無理な数値だったんです。エクスプローラーは、システムキャリアそのものが装着できませんでした。購入システムはさらに続く。  
「トゥアレグは購入時より3年間、メンテナンスがスワップサービスが付けているため、メンテナンス費用は無料です。これに対し、デイスカバリーは通常の新車補償のみで、メンテナンス費用は実費扱い。エクスプローラーには、同じくフルメンテナンスパックがありました。V8の場合、トゥアレグV6の3万円高、8万8千円となる自動車税に少し腰が引けました。」



当初、八木さんが凝りだしたMTBだが、すぐに家族に伝染。トゥアレグを選んでいる頃には既に、クルマにMTBを4台積めることが必須!となっていた。



スノードライブでの安心感:  
最初は、その性能に感動しました



「TOUAREGドライブ日記」  
<http://www.geocities.jp/amigovr6/>

### オーナーならではの情報が盛りだくさん

八木さんのホームページ。ここで、トゥアレグに対する更に細かい評価を見ることができる。燃費&給油記録も完備、メンテナンス情報はもちろん、トゥアレグで出かけたドライブの記録などが面白い。カイエンを含む、他社デモカーの試乗記も充実。その他、八木さんのスケールモデル・コレクションの数々や、クルマ磨きのポリッシャーの評価実験映像なども用意され、見ていて飽きない。人気サイトなので、検索エンジン「google」で「ドライブ日記」と入力すれば、必ずトップに近い位置で見つかるはず。